

大甕小学校通信

平成30年6月1日 第2号
文責：大甕小学校長 林 典行

感謝・感謝の運動会



5月19日(土)運動会が開催されました。午前中から晴れとの予報がでていたものの、未明より降り出した雨が、5時頃から本降りとなりました。校庭は、瞬く間に水を引いた田んぼの様相となりました。雨があがった後も水たまりが随所にでき、地面もぬかるむ状態のもと、果たして満足のいく運動会ができるかどうか、悩ましい気持ちでいっぱいでした。

しかしながら、多くの保護者の皆様にお手伝いいただき、一時間遅れの開催時刻には、グラウンドコンディションもほぼ回復しました。早朝から保護者の皆様による水とり、テント設営等、自発的なご協力があったからこそ無事開催することができました。

子どもたちの想いが天に届いたのか、入場行進に合わせたように晴れ間が覗きましたが、このようなお力添えに支えられて運動会ができたのだということ、子どもたちの胸にしっかりと刻ませたいと考えております。早朝よりわが子のためにお昼の弁当の準備をしてくれたお母さん、運動会会場設営や後片付けのお手伝いをしてくれたお父さん、目いっぱい応援してくれたおじいさん・おばあさん・親戚の方々。それを当たり前と思うのではなく、しっかり感謝できる人間に育ててほしいと願っています。



加えまして、紙面にて恐縮ですが、ご多用のなか、子ども達に温かいご声援をおくってくださいましたご来賓の皆様、ご家族・地域の皆様に深く感謝いたします。今後とも本校教育の益々の発展・充実のためご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

いよいよ全国植樹祭

6月10日(日)に開催される全国植樹祭の開催が間近に迫ってまいりました。天皇陛下、皇后陛下がご在位中最後の植樹祭ということで、全国的にもだいぶ注目されております。当日は、8,000名余りの方々が参加することです。

このような大きな行事が、ここ、大甕地区で開催されることは、本校の歴史に長く刻まれるものと思います。代表として植樹祭に臨む緑の少年団の子どもたちはもちろん、大甕小学校全体にとって、たいへん光栄なことです。

相馬地方は、かつて、天明・天保の飢饉という未曾有の危機を、北陸からの移民政策や二宮仕法を取り入れて乗り切ったという歴史があります。また、江戸時代には、海岸防災林として数千本のクロマツが植樹されたという記録もあります。

今後、復興の1つのシンボルでもある全国植樹祭の意義と照らし合わせ、ふるさとの伝統や歴史を学び、ふるさとのよさを見つける機会へとつなげていければと考えているところです。

6月の主な行事予定

- 1日(金) 市陸上競技大会予備日のため弁当日
- 4日(月) 甲状腺検査
- 6日(水) 歯科指導
- 13日(水) 新体力テスト
- 14日(木) 新体力テスト
- 15日(金) 緑化活動
- 21日(木) プール開き
- 22日(金) 防犯教室
- 28日(木) 鑑賞教室(上学年)
- 29日(金) 授業参観
教育後援会
学級懇談

